あいの助密書

～愛・逢・I～の助

お陰様で第33号
発行所
有限会社猪木酸素
玉島店
ライフサポートあい
の助岡山営業所

福祉用具専門相談員研究大会

演題発表報告

地域の皆様の暮らしを「陰ながらそっと支える」をモットーに日々活動中の有限会社猪木酸素玉島店ライフサポートあいの助です。去る六月二十二日㈭東京のＫＦＣホールにて開催された第４回福祉用具専門相談員研究大会に、演者として選出された弊社スタッフの田中慶之が登壇して参りました。当日は、会場参加・オンライン参加を含め千三百人程の参加者があり、本人弁「非常に緊張しました」らしいですが、立派に自身の取り組みを全国の福祉業界関係者へ届けてきました。

再度、発表内容を紹介しますと、《郊外にお一人でお住いの女性が、加齢による下肢筋力の低下や膝痛により長距離歩行が出来なくなった。しかし、生活を続けていくために最低限必要であるスーパーや銀行へ行くためのアクセスも充分整備されていない環境である。そこでハンドル型電動車いす（セニアカー）導入を計画するも、運転が不慣れで事故の危険性が高いと判断。ご本人も一旦は利用を諦めかけたが、頻回にわたる運転指導と、使用場所の整備により、安全に使用出来るようになり、生活意欲の向上にも繋がった》というものです。

実際、厚生労働省から通知された昨年６月からの一年間で発生した福祉用具に係る重大製品事故１５件のうち、８件がハンドル型電動車いすによるものです。つまり、便利で需要は高いが、使い方によっては大きな事故が起こり易いということです。そうした背景を踏まえて、田中君の徹底した安全性の確保への取り組みが評価されたのではないかと考えています。

田中「当日は、全国から集まった同業他社の演者の発表も観ることが出来てとても勉強になりました。今後、この経験をお客様へのサービスの向上に活かしていきます。」

先日の報告以来、皆様より数々の励まし、応援のお言葉を賜り、誠に有難うございました。

スタッフ紹介

初めまして自己紹介をさせていただきます。新しくあいの助の一員となりました。

三宅将也と申します。平成元年生まれの三十四歳です。

倉敷鷲羽高校の一期生でその時介護について学んでおりました。その後、倉敷芸術科学大学の生物学部を卒業。卒業後は、時計店の販売員や作業服メーカーの営業をしておりましたが現在の猪木酸素に就職後約二年間工業用ガスの配達と営業をしておりました。

今年に入って社長より昔学んでいたことを活かしてみないかと言って頂き、この度あいの助の一員として仲間入りする事となりました。

趣味は釣りとツーリング・アマプラ鑑賞です。バイクは、乗り始めて約十年になりますが週末しか乗らない上に寒かったり暑かったりすると心がすぐ折れるので上達してる感は少ないです（汗）。釣りは最近はじめたばかりでガスの配達をしていた時のお客様がしていたので興味を持ち、始めました。釣りの種類はフカセ釣りで、先日初めてチヌを釣り上げることができました。この時の感覚は、忘れられないですし、釣りを教えてくれたお客様に感謝しかないです。

長くなりましたが、あいの助の一員として精一杯努めていきますので宜しくお願い致します。

農園の近況～有機農法への道

先日、草刈りをしていると奇妙なものが・・・調べてみると、どうやら茅ネズミの巣であるらしい。日本最小のネズミで、岡山県の準絶滅危惧種に指定されているとのこと。すぐに草刈りを中止しました。なによりカワユイし。また、田圃では、田ドジョウ発見。作物の収穫はまだまだ覚束ないですが、田畑にやって来る命は増えています。バッタ、蛙、蛇、鷺、鹿、猪、５０絡みのオヤジ・・・